

総合人間科学系 全学教育センター

多様性の中で良好な関係を構築する ための自他分析力を育成する

私は今、スポーツや野外活動実施における身体的共感を通じた自他理解の促進と関係性の変化について研究をしています。身体活動場面において、相手から発信される表情や行動、運動パターンなどの非言語的なメッセージを読み取り、その意味や状態をより深く分析できることが、他者との良好な関わり方につながると考えています。

「多様性」や「インクルーシブ」が言われる現代において、多様な人と関係が構築できる力は必須となっています。そのため、教育実践では、これらの力を高めるような体育授業や、高い分析力を持ったインクルーシブ野外活動指導員（IOI）の養成を行っています。

健康科学教育部門

研究から広がる未来



加藤 彩乃 講師

筑波大学体育専門学群を卒業後、同大学院人間総合科学研究科にて博士前期課程修了（体育学）。

東京都での特別支援学校勤務を経て、2013年に着任。専門はインクルーシブ野外教育・アダプテッドスポーツ。

小さい子どもや、障害のある子ども、関わりが苦手な子どもの中には、自分の気持ちをうまく言葉にできず、友だちと衝突してしまう子どもがいます。また、それを子どもたち同士で解決することが難しい場面もあります。IOIや将来教員となる学生が、高い分析力や専門的な指導力を持っていれば、つなぎ役となって子どもたちの関係を間接的に築いていく事ができます。このことは、効果的なインクルーシブ教育の実践にもつながります。

卒業後の未来像

私は、長野に来てある人たちと出会い、自然の中で遊ぶようになったことをきっかけに、より広い視野を持ち、本質を見抜く事の重要性を実感するようになりました。ぜひみなさんも、信州大学で人生が変わる出会いと学びを深めてください！



一緒に身体を動かすことを通してつながりを感じる



指導者のスキルが高ければ、どのような状況・場面も最高の学びに変えることができる